

評価・検証の流れについて

1 大野城市民読書活動推進委員会

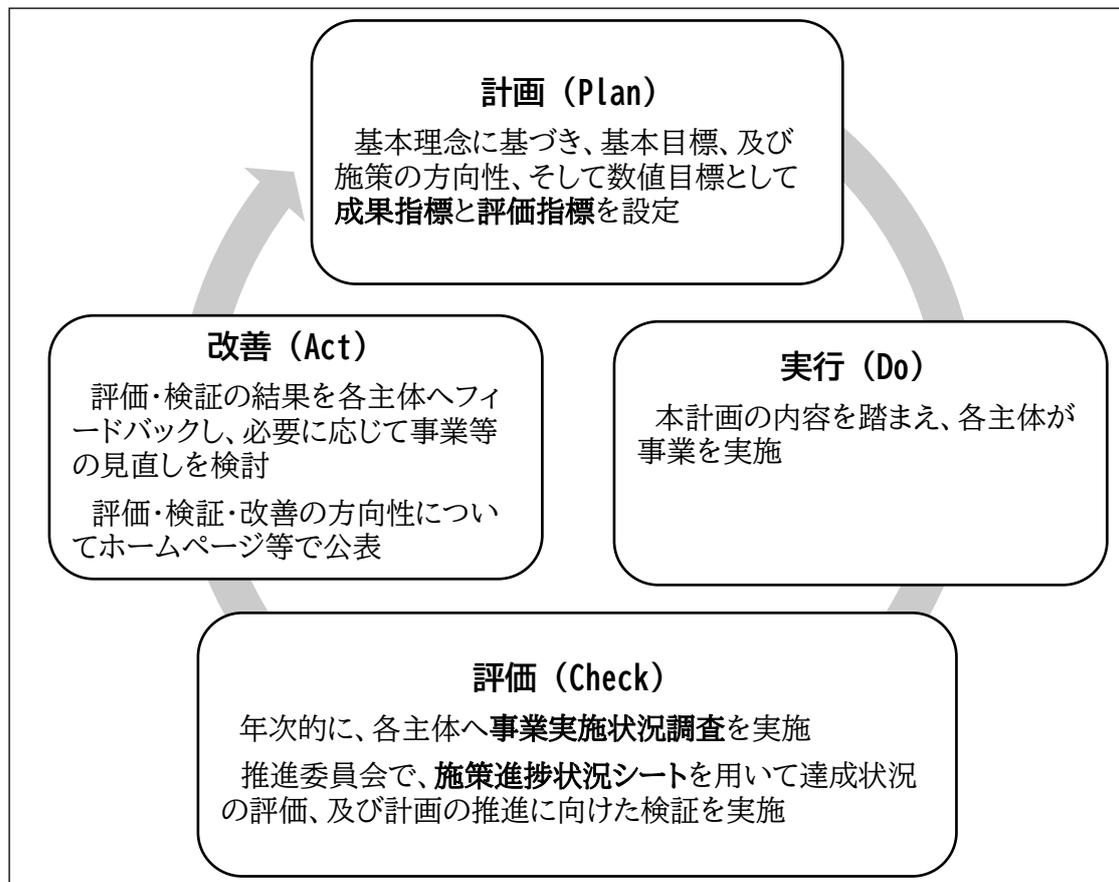
大野城市民読書活動推進計画(以下「計画」という。)に基づき、全世代の市民の読書活動を推進するため、計画の進捗等について評価及び改善に向けた検証等を行います。

<委員会の構成>

より実態に即した効果的な評価・検証を行うため、以下のとおり多角的な視点から意見をいただけるような構成としています。

選出母体	特に重視していただきたい視点
学識経験者	読書活動推進の全般に関すること
まどかぴあ図書館	図書館運営、及び読書活動推進に関すること
区長会	地域での読書活動推進に関すること
コミュニティセンター 管理者	
地域貸出文庫連絡協議会	読書ボランティアの活動推進に関すること
図書館ボランティア	
保育所連盟	乳幼児の読書活動推進に関すること
幼稚園長会	
小学校長会	小・中学生の読書活動推進に関すること
中学校長会	
PTA連絡協議会	
筑紫中央高校	高校生の読書活動推進に関すること
青少年リーダー研修会 実行委員会	社会人の読書活動推進に関すること
市社会福祉協議会	高齢者と障がい者の読書活動推進に関すること

2 計画の推進・進行管理



成果指標

計画の進捗度を測るため、12 の施策に対し、目標となる数値を設定しています。なお、この数値は5年ごとに評価します。そのため、現在の目標数値は中間年度（令和9年度）時点のものとしています。

評価指標（活動指標）

成果指標を達成するために、施策ごとに1～3つの重点事業を設定しています。評価指標は、各重点事業について各主体が行う活動の目標となる数値を設定しており、毎年評価します。

事業実施状況調査

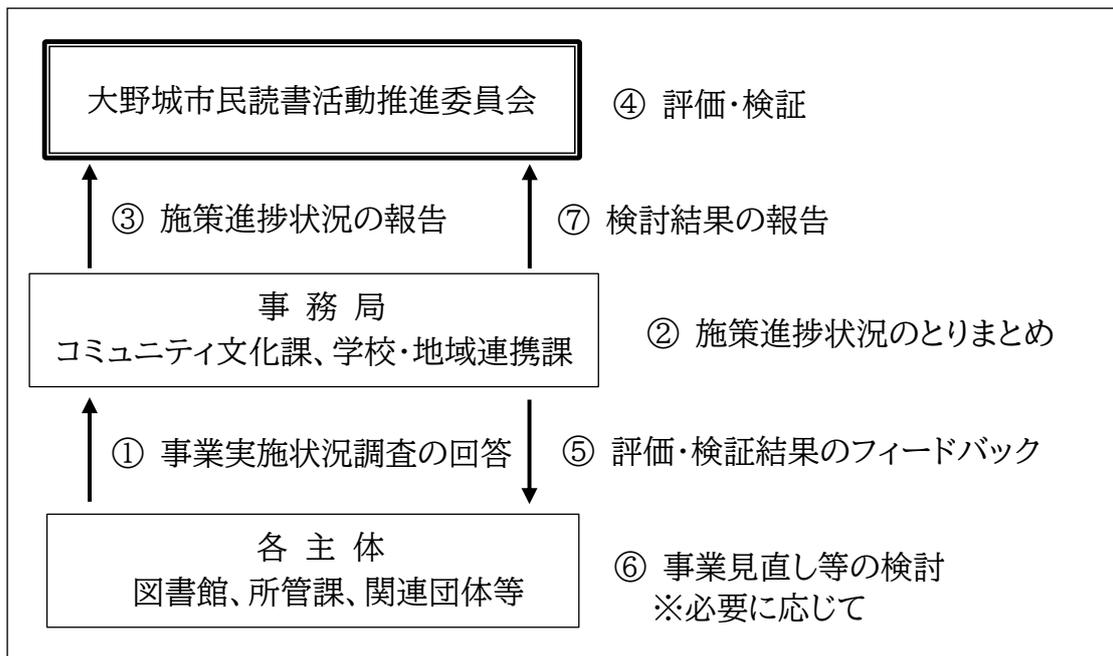
毎年4～6月頃、各主体に対して、事業の実施状況を調査します。

施策進捗状況シート

毎年、事業実施状況調査の結果をもとに、施策ごとに作成します。

推進委員会では、このシートを活用して、主な取組ごとの達成状況の確認、施策に対する評価及び検討が必要な事項等について検証を行います。

3 評価・検証の具体的な流れ



① 事業実施状況調査の回答（各主体）

各主体は、前年度の事業実施状況について調査に回答します。

② 施策進捗状況のとりまとめ（事務局）

事務局は、各主体の事業実施状況調査をとりまとめ、施策ごとの進捗状況について、施策進捗状況シートを作成します。

③ 施策進捗状況の報告（事務局→推進委員会）

推進委員会にて、施策ごとの進捗状況について、報告します。

④ 評価・検証（推進委員会）

施策進捗状況シートを活用し、主な取組ごとの達成状況の確認、施策に対する評価及び検討が必要な事項等について検証を行います。

⑤ 評価・検証結果のフィードバック（事務局→各主体）

推進委員会で行った評価・検証結果を各主体へフィードバックします。

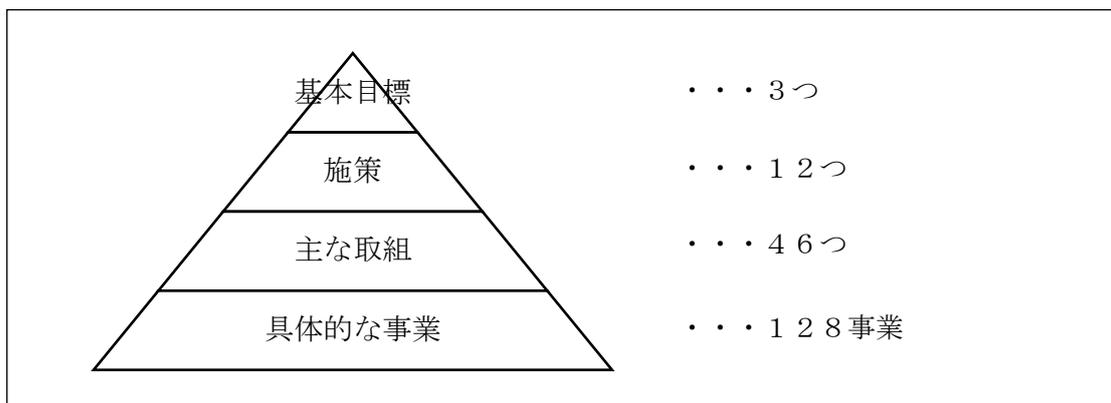
⑥ 事業見直し等の検討（各主体）

各主体は、必要に応じて事業の見直し等を検討します。

⑦ 検討結果の報告（事務局→推進委員会）

各主体の事業の見直し等の検討結果について報告します。

参考：計画の構成



4 具体的なスケジュール

<令和7年度>

7月9日	第1回推進委員会 ・委嘱状交付 ・オリエンテーション
10月頃	第2回推進委員会 ・施策進捗状況の報告 ・主な取組ごとの達成状況の確認 ・施策に対する評価 ・検討が必要な事項等について検証
～2月頃	対応結果の報告（書面）

<令和8年度>

9月頃	第1回推進委員会 ・施策進捗状況の報告 ・主な取組ごとの達成状況の確認 ・施策に対する評価 ・検討が必要な事項等について検証
10～12月頃	第2回推進委員会 ・事業見直し等の検討結果報告(予定)